

一般質問発言通告書

発言順位 15 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年6月10日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 17 番 土屋 利絵

質問事項1 財政的にこれから大型事業を遂行していくことが可能なのか

具体的な内容 人口減少社会を迎えて、まず大切なことは、今までのような経済成長前提での、言い換えれば税収の増加ありきでの財政運営の考え方を根本から変えていかなければ、いずれ立ちいかなくなっていくことは明らかになっているということを、肝に銘じていくことが大切だと考えます。そして、あらためて大切な視点として、お金は収入の範囲でしか使うことができないこと。借金を作れば、その時はいいけれど、長いと20年。未来のお金がそのために使わなければならぬこと。どこか余分に使うということは、どこかが削減された結果だということ。すでに財政的に厳しい時代、税収の増加を背景に、今まで建物を建ててきた時代から、統廃合していくともたない時代を迎えてます。やはり大切なことは、建て替えることもできない、統廃合しないとならない時代に、基本的には、新しい建物を建てている場合ではない時代ということです。パイは限られていますので、自分たちだけがよければいいという発想では乗り越えていけない時代です。

三島市財政の特徴をおさえ、今でも財政的に厳しい時代、これからますます困難が予想される中、大型事業がいくつか控えております。本当に乗り越えることができるのか、どこにお金をかけ、どこを削減することが可能なのか、今回発表された長期財政計画をもとに改めて議論することができればと思います。

1 公共施設統廃合 17.4%の数字がどこにも書かれていない理由についてと現在の進捗状況と今後について

2 長期財政計画を策定する意味と、毎年ローリングし、公表していく必要性について

3 歳入について

- (1) 一般財源の推移についてと、長期財政計画に一般財源をのせていくことについて
- (2) 個人市民税の推移と過去に策定した長期財政計画との比較について
- (3) 法人市民税の推移と過去に策定した長期財政計画との比較について
- (4) 固定資産税の推移と過去に策定した長期財政計画との比較について
- (5) 交付税の推移と今後について
- (6) 税収が令和32年度まで伸び続ける計画をどう考えるか

4 歳出について

- (1) 一般財源の中の義務的経費の推移について
- (2) 義務的経費の中の扶助費の増加についてと長期財政計画との比較について
- (3) 投資的経費に充当している一般財源の推移について
- (4) 長期財政計画の令和6年から令和16年に急増していく計画の市債残高とそれ以降の市債残高の推計について
- (5) 政策的経費、その年の新たな事業に使えるお金がどのくらいあるのか

5 新庁舎建設について

- (1) 今後、どのくらいの資材などの値上がりを考慮し、どのくらいの金額になることを見込んでいるのか。
- (2) 新庁舎建設事業費の削減に向けた取り組みについて